

編集方針

本レポートは社会的価値創出と経済的価値創出の両立を目指す三井住友トラスト・グループのESG(環境、社会、ガバナンス)の取り組みを中心に取りまとめた報告書です。当グループでは、2017年より投資家を主要な読み手とした統合報告書を発行していますが、本レポートは、より詳細なESG情報を求める投資家や投資家以外のステークホルダーに対し網羅的な情報開示を行うものです。

本レポートは、世界経済フォーラム国際ビジネス協議会の提言に基づき世界4大会計事務所が中心となって取りまとめた白書「ステークホルダー資本主義を測定するー持続可能な価値創造のための共通指標と一貫した報告を目指して(Measuring Stakeholder Capitalism – Toward Common Metrics and Consistent Reporting of Sustainable Value Creation)」の共通測定基準(以下、コモンメトリクス)を踏まえて作成しました。また、巻末に

は当該コモンメトリクス、米国の非財務情報開示基準 SASB (Sustainability Accounting Standards Board)・金融セクターの会計指標、国際的な非財務情報開示基準GRI (Global Reporting Initiative)スタンダードとの対照表および、2019年9月に署名した責任銀行原則(Principles for Responsible Banking)で義務付けられている年次ベースの開示情報を掲載しています。

報告対象範囲 三井住友トラスト・グループ(三井住友トラスト・ホールディングス、三井住友信託銀行、その他のグループ会社)

対象読者 お客さま、株主・投資家、社員、事業パートナー、地域社会、NPO、行政、国際機関等の全てのステークホルダー(利害関係者)

報告対象期間 2020年10月1日～2021年9月30日

※ただし、一部には2020年度以前の活動や2021年10月以降の最新情報を含んでいます。

サステナビリティ情報開示ラインアップ

当グループは本レポート、統合報告書以外にもサステナビリティに関するさまざまな情報開示を行っています。まず本レポートからスピンオフさせた別冊版として、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)レポート(旧「気候変動レポート」)、自然資本レポート、不動産ESGレポート(旧「環境不動産レポート」)が挙げられます。また、三井住友信託銀行は2種類のシニア世代応援レポート(「認知症問題を考える」「シニア世代の住まいを考える」)をそれぞれ隔年で、「SuMi TRUST With You社会貢献レポート」を四半期で発行しています。資産運用業務を担う三井住友トラスト・アセットマネジメントは「スチュワードシップ・レポート」を、日興アセットマネジメントは「サステナビリティレポート」を年次ペースで発行し、ESG投資の取り組みを詳細に開示しています。なお、ウェブサイトの「サステナビリティ活動」において、本レポートへの掲載情報以外にも当グループが取り組んでいる幅広いサステナビリティ活動の内容を掲載しています。



ウェブサイトではサクセスフル・エイジング、環境・生きもの応援活動などについて、より詳細な情報を掲載しています。

「サステナビリティの取り組み」<https://www.smth.jp/sustainability>

『SuMi TRUST With You社会貢献活動レポート』は、三井住友信託銀行が取り組んでいるWith You活動についての定期報告書です。

(年4回発行)

